地域情報ニュース「品川しゅく」第153号　音声読み上げ用

令和6年2月20日　品川第一地域センター　発行

電話番号03-3450-2000　ファックス番号03-3450-2026

今号は、特集を6つ掲載しています。

**特集1タイトル「子育地蔵尊を観に行こう！」**

　皆さんは『こそだてじぞう』をご存知ですか？都内には数多くの『こそだてじぞう』がありますが、その中で北品川の『こそだてじぞう』を、北品川二丁目町会のかねこ会長に案内していただいたのでその様子をお伝えします！

　実は、この『こそだてじぞう』は赤子を抱いている珍しいお地蔵さんで、大正10年７月から現在までずっと同じ場所で私たちを見守っています。当時は目黒川がこのお地蔵さんがいる場所の近くを流れており、台風が来るたびにはんらんして子どもが亡くなったことから、くようとして多くの方の寄付のもと建立されたそうです。今でもたくさんの折鶴と、お花が飾られています。ぜひ、皆さんも春のお花見と一緒に『こそだてじぞう』を訪れてみてください。

（向かって右側から順番に）

挿入画像1：所在地の写真

挿入画像2：北品川二丁目町会会長かねこまさひで様とこそだてじぞうの写真

挿入画像3：赤子を抱くこそだてじぞうの写真

**特集2タイトル「品川かぶ通信ボリューム２」**

　品川第一地区の年末の風物詩である品川かぶ品評会が令和５年12月24日(日)に第10回記念大会として開催されました！この日は快晴に恵まれ、一流シャンソン(※)歌手の美声に聞き惚れたり、和太鼓の力強さに圧倒されたり、振る舞われた品川汁や江戸野菜に舌鼓したりして盛りだくさんでした！ ※フランスの流行歌

　また、品川かぶ品評会の出品数も前年に比べ多く、森澤区長を含む審査員は素晴らしい出来栄えに選定にも時間がかかっている様子でした。そんななか、入賞に輝いたのは、３位灰田様(個人)、２位大田区立いづも小学校、特別奨励賞品川学園、１位台場小学校でした。どの参加者たちも水やりを欠かさず行い、大切に育てたそうで、作物を「育てる」ことでとりわけ子どもたちが「生きる」ことそのものを学んでいるのだと実感しました。

　(向かって右側から順番に)

挿入写真1 :エヌピーオー法人東海道品川宿なすびの花ののぼりと出品かぶの写真

挿入写真2(上)：出品かぶの写真

挿入写真3(下)：大きな鍋で煮込まれている品川汁の写真

挿入写真4(左上)：品川かぶがアップされた写真

挿入写真5(左下)：立派な入賞者用トロフィーの写真

**特集3タイトル「未来に向かって走りぬく！第13回東海道駅伝マラソン大会～令和5年11月26日(日)実施～」**

　この日はあいにくの雨模様でしたが寒さを吹き飛ばす、晴れやかな笑顔で、スタートを心待ちにしている生徒たちの姿がありました。「位置について、よ～い、パーン！」の合図とともに、駆け抜ける姿はいつ見ても爽快です。そんな元気いっぱいの品川っ子たちの様子をレポートします！

　はじめはマラソン大会。４年生から６年生が学年の枠を超えて約１５００メートルを一斉に駆け抜けます。大差をつけて1位になった生徒や、最初は順調に走れていたけれど、失速してしまい悔しい結果になってしまった生徒などがいましたが、沢山の声援を受けながら見事にゴール！

（上から順番に）

挿入画像1：第一走者へのエールを送るために皆で円陣する写真

挿入画像2：「位置について、よ～い、どん！」の瞬間の写真

挿入画像3：生徒がゴールテープを切る寸前の写真

挿入画像4：ゴールテープを切って、倒れ崩れる生徒の写真

続いて、学年ごとの駅伝大会。緊張している様子の第一走者は、みんなの温かいエールを背に受け、走り出しました。雨の影響で地面が滑りやすく、バトンをつなぐときに転倒してしまう生徒や、失速する生徒がいましたが、どの生徒も一生懸命に駆け抜ける姿に心を奪われました。最後のゴール時には先生をはじめ、たくさんの生徒たちがアンカーを出迎え、抱きしめる姿を見たときは、とても胸が熱くなりました。

　実行委員長の山崎要さんは「一人の方の強い思いで、４年かけて第一回の開催にこぎつけたこの大会は、地域に根づいた素晴らしいものになっていると思う」と話していました。大会当日の様子はユーチューブにて配信中です！皆様ぜひ子どもたちの勇姿をご覧ください。

**特集4タイトル「伊豆を満喫！親子日帰りバスハイク2023」**

　令和５年11月19日(日)、絶好の行楽日和となり、大型バス２台で伊豆へ行ってきました。三島スカイウォークでは足がすくむ高さでしたが、富士山を眺めながら吊り橋を無事に渡りきることができました。

昼食会場の酪農王国オラッチェでは、バーベキューとバター作りを体験しました。このバター作りが意外と難しい！大人よりも子どもたちの方が上手にできていました。自分で作ったバターは素朴で自然な味わいで、普段食べる市販のものとはまた違った美味しさがありました。

　伊豆わさびミュージアムでは、わさびがどのように育つのかを楽しみながら学びました。道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」では、蛇口をひねると、新鮮な本場の「丹那牛乳の飲むヨーグルト」が出てきて、子どもたちは大喜びでコップいっぱいに入れて飲んでいました。帰り道では、バス内でじゃんけん大会が行われ、最後まで勝ち残った人には豪華賞品が当たりました！

(右から順に)

挿入画像1：日本一高いつり橋から見える富士山の写真

挿入画像2(上)：丹那牛乳の飲むヨーグルトを飲む参加者の写真

挿入画像3(中)：バスの中で行ったじゃんけん大会の写真

挿入画像4(下)：じゃんけん大会で見事商品をゲットした参加者の写真

挿入画像5(左上)：コップいっぱいに飲むヨーグルトを注いでいる写真

挿入画像6(左下)：お昼ご飯のバーベキューを楽しんでいる写真

**特集5タイトル「ワクワク楽しく！親子でボウリング大会！」**

　令和５年12月16日(土)に品川プリンスホテルにてボウリング大会を実施しました。リピーターも多数いるほど毎年大人気のこの事業では、親子そろって白熱した真剣勝負に会場は熱気に包まれました！

　大会の後半ではサンタさんも駆けつけ、子どもたち一人ひとりに今年はどんなお願い事をするのか聞いて回りました。なかには、熱心にサンタさんとお話をする子どもたちもいて、終始大人気のサンタさん。表彰式のみならず、帰りにはサンタさんから参加者全員にちょっとしたプレゼントが贈られました♪

（向かって右上から）

挿入写真1：親子そろって嬉しそうにピースしている写真

挿入写真2(右下)：サンタさんが入賞者にプレゼントを渡す写真

挿入写真3(左上)：サンタさんと参加者が仲良く談笑する写真

挿入写真４(左下)：ストライクが出るかなとそわそわしながら見守る子どもたちの写真

**特集６タイトル「お正月と言えば！親子でたこあげ大会」**

　約４年ぶりのたこあげ大会実施とあってとても多くの方から応募があり、スタッフ一同嬉しい悲鳴が上がりました。子どもたちは、体験できる機会が少なくなったたこ作りができ、とても嬉しそうでした！

　見出し１　13日(土)たこづくり教室

　和紙と竹ひごだけの、シンプルかつ丈夫なたこを作りました。品川第一地区委員会と品川第二地区委員会の合同事業なので、両地区の地区委員さんが補助をしながら、参加者はひとつひとつ丁寧に作業を行う姿が印象的でした。特にイラストを描く場面では、事前に何を描こうか準備している子どもから、直感で描き出す子どもまで様々で、個性溢れる作品が沢山出来ました。

（上から順番に）

挿入画像1：オリジナルたこづくりを行う参加者の写真

挿入画像(右下)2：できあがったオリジナルたこの写真

挿入画像3(左上)：お子様が思い思いのイラストを描く写真

挿入画像4(左下)：たこあげ大会当日に綺麗に空高くあがるたこの写真

挿入画像5(右下)：親子でゲイラカイトを組み立てる写真

　見出し２　14日(日)たこあげ大会

　株式会社ジェラ様のご協力のもと、敷地内の広場でたこあげ大会を実施しました。前日にたこ作りをした子どもたちは自作のたこがあがるかドキドキしていましたが、無事に大空高くあがって、とても嬉しそうでした。一方で、たこがあがるように一生懸命走ったり、お互いのたこが絡まないように親子そろって真剣に調節したりと、皆全集中！たこあげの途中では火力発電所の施設見学を特別に実施していただき、普段体験できないことまでできました。参加者からは「とっても楽しい。もっとやりたい！」というコメントがあり、この事業を楽しんでいただけた様子でした。

地域情報ニュース「品川しゅく」第153号の内容は以上です。